## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)								住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)									
名。シモハナ物流株式会社							〒 731-4323  所  広島県安芸郡坂町横浜中央1丁目6-30										
本票作成部署名:岡山デリバリー営業所																	
主たる業種       分類 コード       44       業種名: 道路貨物運送業																	
事業の 概 要	倉庫	業、	冷蔵倉	拿庫業、3F	PL	タル	物流サ	ナービ	ス								
県内の 主 な 工場等	番号	番号 工場等の名称							所 在 地								
	1	岡	山物流センター営業所					岡山県倉敷市下庄808-1									
	2	② FC倉敷営業所							岡山県倉敷市下庄850-1								
	3	③ 岡山営業所							岡	岡山県岡山市南区藤田564-218							
特定事業	者	<u>/</u> ①/	然料等原	原油換算1,	500kl以	上[	v 2n	*ス・ト	ラック10	0台、	タクシー2	250台	以上	<u></u> 30	202換算3	3, 000t	以上
の該当要									●車両台数(②該当の場合) 212 台)								
温室効果な	プス   <sup>麦</sup>	<b>と</b> 準年	度 ( 行				( 令 )	<u>FΠ :</u>			排出量	Ţ	目標年	度(令			F度)
排出量		T. D	_	12,685 t (		ケイム			12,	605	t CO <sub>2</sub>				12, 051	t CC	2
	F	番号 工場等の名称							(令和 2 ) 年度排出量								
	-	① 岡山物流センター営業所							8, 294 t CO <sub>2</sub>								
主な工場 の排出量	· 等 -	② FC倉敷営業所         ③ 岡山営業所							2, 888 t CO <sub>2</sub> 1, 423 t CO <sub>2</sub>								
		3	岡川沼	<b>営美</b> 別											1, 423		
	-															t CC	
	-															t CC	
																t CC	2
削減目標達成状況		十画其	引間:	令	和 2	2	<b>F</b> 度		$\sim$	令	和	6 4	年度	(	5	箇年	度)
		 □ 総排出量基準 ( 2				)年度削減実績			漬 目標削減率 目標道				起成				
		<b>/</b>	原単位	立基準			4. 1		%		5.	. 0	%	□達	成	<b> </b>	<b>卡達</b>
温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位当たり排出量																	
(原単位基 の削減目標 選択してい	を							~ I 1/口"	基準年度 (2)年度 目標年度								
	いる								0. 754 0. 723 0. 716								
場合に記入	()								$ m kg~co_2/(~km~)~kgco_2/(~km~)~kgco_2/(~km~)$								
(該当事業者のみ記入)																	
ベンチマー	ベンチマーク 対象事業の名称 ベンチマ				チマー	ーク指	指標 関連数値(令和 2 年度) 達成率					率等					
指標の状	況																

## 【削減状況の自己評価】

デジタコ及びドライブレコーダー (ドライバー自身を映す画像有)を活用した指導、取組で乗務員の省エネ運転への意識も高まった。

【推進体制】										
営業所の所長をリーダーに毎月の状況を把握、改善に取り組む										
【目標削減率達成のために実施										
岡山物流		の名称 - 営業所	実施した措置及び今後の取組の内容 (令和2年度実施分)							
FC倉敷営	業所	H 218/21	アイドリングストップ、デジタルタコグラフまたそれらの実行を確認するドライブレコーダーの活用による省エネ運転の指導、燃費向上の取り組みを実施した。							
			さらに冷蔵・冷凍車において、エンジンをかけずに箱内を冷やすスタンバイ装置を備えた車両を随時に導入(現在全車両の15%程導入済)。							
			(今後実施予定分) アイドリングストップ、デジタルタコグラフまたそれらの実行を確認するド ライブレコーダーの活用による省エネ運転の指導、燃費向上の取り組みをさ							
			ライフレコーターの活用による有工不運転の指導、燃資同工の取り組みをさらに強化して実施する。 また、上記のエンジンをかけずに箱内を冷やすスタンバイ装置を備えた車両							
			の導入をさらに進めていく予定。							
【杰林伊	. 仝 竺 Ⅲ		्रिक्ष <b>र</b>							
県内で			又和							
の取組	無									
その他	無									
【再生可	能工才	ベルギーの導入								
県内で の取組	有	・	ペネルを設置(岡山物流センター営業所、倉敷営業所社屋)							
その他	無									
【その他	特記事	耳								